

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立青少年センター
施設所管課・担当	こども青少年局企画部青少年課（青少年企画）
条例上の設置目的	青少年に対し音楽、舞蹈、美術その他の芸術（以下「音楽等」という。）の創作、練習又は発表の場を提供することにより、青少年の自主的な音楽等の創作活動を支援し、青少年相互の交流を促進するとともに、青少年の文化と教養を高め、もって青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 講演会、講習会、音楽等の発表会の開催その他青少年の文化又は教養の向上に関すること (2) センターを青少年の利用に供し、その団体活動の育成を図ること (3) 青少年に対する各種の相談、指導及び助言を行うこと (4) 青少年の宿泊のための施設を提供すること (5) その他市長が必要と認める事業
成果指標	文化ゾーン利用者数/宿泊ゾーン利用者数
数値目標	17,500件/14,000人
指定管理者名	公益財団法人 大阪ユースホテル協会
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	文化ゾーン利用件数	宿泊ゾーン利用者数
数値目標	17,500件	14,000人
年度実績	17,446件	9,740人
達成率	99.7%	69.6%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
年間利用件数(文化ゾーン)	17,446件	12,397件	5,049件
年間利用者数(宿泊ゾーン)	9,740人	2,132人	7,608人

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
利用料金収入	実績	112,500,521	60,572,083	-16,238,479	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設利用者数の減
	計画	128,739,000	122,706,000		
その他収入 (自主事業収入等)	実績	62,761,119	89,746,928	7,943,119	・雇用調整助成金等収入による増(大阪市からの補填額18,311,234円含む)
	計画	54,818,000	57,289,000		
合計	実績	175,261,640	150,319,011	-8,295,360	
	計画	183,557,000	179,995,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	77,393,479	73,205,345	-7,186,521	・施設の利用状況や利用実態に合わせた勤務シフトの見直し等による人件費の減
	計画	84,580,000	87,620,000		
物件費	実績	89,951,295	64,051,368	5,512,199	・光熱水費の増等
	計画	84,439,096	92,631,210		
その他事業費 (自主事業支出等)	実績	19,042,798	14,674,156	-2,444,202	・施設利用人数の減によるレストラン部門の経費の減
	計画	21,487,000	22,688,000		
合計	実績	186,387,572	151,930,869	-4,118,524	
	計画	190,506,096	202,939,210		

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
文化ゾーン利用件数	99.7%	B	
宿泊ゾーン利用者数	69.6%	-	宿泊ゾーン利用者数は前年度比7,608人増の9,740人であったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減少からの回復途上であったため、評価を「-」とした。

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
管理運営費の縮減に取り組んでいる。 ・スタッフの勤務時間と配置を工夫による人件費の縮減 ・宿泊人数が少ない日は、浴室利用を男女で時間割し、水光熱費を縮減 ・利用者の増減に応じ、日常清掃の時間短縮を導入し経費を縮減	B	・本市からの業務代行料はなし。

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	・春休みには、子どもたちの自立の一助となるよう小中学生旅行応援プランを実施し、若い年代の個人利用者が増加した。 ・宿泊者対象のサービスとして短期留学生のためのプログラム（たこ焼き体験、着付け体験）を実施した。 ・気軽に音楽や芸術に触れてもらうことができる「KOKO DE CONCERT」と「ふんふん寄席」を開催した。 ・クレジットカードやQRコードなどキャッシュレス決済による多様な支払い方法に対応している。
施設の有効利用	B	新大阪周辺地区帰宅困難者対策協議会や地域の秋祭りへの参加等、地域との交流を深めている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

# 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 5 利用者ニーズ・満足度等

### 【文化ゾーン関係】

・ 満足度について（5段階評価の平均値）

①施設の使いやすさ（4.25）、②施設の清潔さ（4.30）、③スタッフの対応（4.30）、④総合的な満足度（4.35）

・ 意見や感想など

「建物は古いが丁寧に管理されている」「ホスピタリティ溢れる対応をしようと工夫しているのが伝わる。」「また利用したい。」

### 【宿泊ゾーン関係】

・ 満足度について

①スタッフのサービス 満足 70件 普通 10件 ②施設の清潔さ 満足 70件 普通 10件

③料金 満足 65件 普通 15件

・ 意見や感想など

「チェックアウトが5時45分からなので助かった。」「駅近くの立地で便利だった。」「近くの部屋が夜中に少しうるさかった。」「毎日メニューが変わりバラエティーに富んでいた」「フロント前の机にコンセントがあったので、パソコン作業ができて便利だった。」

## 6 外部専門家意見

・ 帰宅困難者対策協議会への参加等、施設の有効利用に継続して取り組んでいることは評価できるが、今後、新たな取組を実施されることを期待する。

・ 文化・芸術といった施設の強みを活かし、工夫した事業を実施していることは評価できる。

・ 新たな連携先とのコラボ等が試みられていることから、今後の更なる充実に期待する。

・ 文化ゾーンについては、「貸室」という施設の特性を活かし、新たな利用形態を提案するなど、新たな利用者の発掘や獲得に努めていただきたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減少からの回復途上であったため、評価を「-」とした。
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	施設の有効利用にあたっては、新たな事業開発に向け模索している状況がみられることから、引き続き団体等と連携した事業の開発に努められたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	